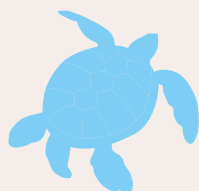
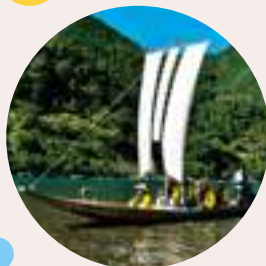
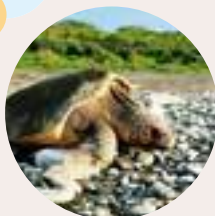


きぼう
の
たまご



町制施行 10 周年記念
町勢要覧

三重県

紀宝町

海・山・川の恵みに抱かれ、
ともに輝き創造するまち

平成28(2016)年

紀宝町の
未来をつくる
たまご、
誕生中!

きぼうのたまご



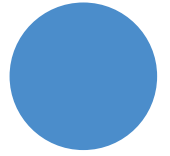
このページを2~14ページに
重ねて見てみよう!

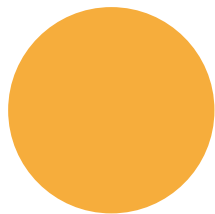
穴から見えるのは、紀宝町から誕生している「きぼうのたまご」たち。「未来の紀宝町」をつくっている取り組みの数々は、今、まちの至るところで続々と誕生しています。



QRコードを読み取って
動画を見てみよう!

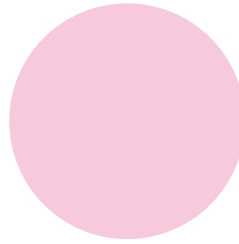
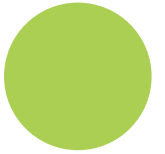
冊子内に掲載しているQRコードを携帯電話・スマートフォンで読み取ると、よりまちの魅力がわかる動画を見ることができます。





きらきらと輝く、たくさん笑顔。
 紀伊半島の南東部に位置している紀宝町では、
 まちの至るところで
 人々の笑顔が続々と生まれています。
 数多くの笑顔の誕生は、
 紀宝町の輝く未来の訪れを予言しているかのようです。





Contents

- 2 みんなが誇れる環境をめざします 恵まれた自然環境
- 4 子どもの笑顔は、まちの宝ですね のびのび子育て・教育
- 6 防災から学んだ教訓を活かしています 進む防災活動
- 8 心も身体も元気が一番ですね いきいきと元気に暮らす
- 10 祭りは、まちの彩りを生み出しています にぎやかな祭り
- 12 古の歴史を守り、今、新たな歴史を紡いでいます 未来へ受け継ぐ歴史
- 14 愛情込めて育まれた産物は、まちの宝です 愛情受けて育つ逸品
- 16 紀宝町 10年の軌跡
- 18 第一次紀宝町総合計画 きぼうのまちづくり
姉妹町 石川県中能登町
- 19 紀宝町議会
- 20 これが私のきぼうのたまご
- 22 紀宝町マップ
【特別付録】紀宝の絵はがき
発行にあたって



みんなが誇れる環境をめざします

ウミガメが産卵に来るまち、紀宝町
みんなが誇れる恵まれた
自然環境を守り続けています。

町のシンボリック存在 アカウミガメ

紀宝町では、5月下旬から8月上旬にかけてアカウミガメが産卵のため井田海岸に訪れています。また、道の駅紀宝町ウミガメ公園では飼育されているアカウミガメを間近で見ることができ、ほか、地元の小学校では保護・啓発活動を行っています。

ウミガメ公園の
ウミガメたちを
動画で見てみよう！



恵まれた自然環境

町は昭和63(1988)年、全国の市町村で初となる「ウミガメ保護条例」を制定。ウミガメ保護監視員による海岸パトロールのほか、小学生による保護活動への参加など、「ウミガメ保護」という紀宝町ならではの取り組みを通して、町民一人ひとりの心に、環境保全の大切さが刻まれています。

また、町のきれいな水環境を後世に残していくこと、日ごろの暮らしから実践できる環境保全として、し尿だけでなく家庭から出る生活雑排水も処理することができる高度処理型合併処理浄化槽を設置する「町営浄化槽整備推進事業」にも取り組んでいます。恵まれた自然と町民の生活環境を守り次世代へと受け継いでいくことは、ウミガメをはじめとした様々な生命の誕生の場を守ることにつながっていくのです。



高性能を誇る紀宝町町営浄化槽

従来型の浄化槽よりも高性能を誇る「高度処理型合併処理浄化槽」。町では市町村設置型での浄化槽整備を推進しており、町民に快適な生活環境を提供するだけでなく、町の自然環境の保全にも寄与しています。



ウミガメの保護・啓発拠点 道の駅 紀宝町ウミガメ公園

ウミガメ保護・啓発活動の拠点。ウミガメのことを学べる資料館があるほか、館内の大プールでは実際に飼育されているウミガメを間近で見ることができます。



雪のように水しぶきが舞う ひせつ 飛雪の滝

紀州藩主の徳川頼宣(とくがわよりのぶ)が滝の美しさを詠んだ漢詩から「飛雪の滝」と呼ばれるようになりました。周辺にはキャンプ場や遊歩道も整備されています。



アカウミガメが産卵に訪れる しちりみほま 井田海岸(七里御浜)

道の駅の目の前にある海岸で、5月下旬から8月上旬にかけて、アカウミガメが産卵のために上陸する場所として有名です。

町のシンボル・ウミガメを守っていききたい

井田海岸へやってくるウミガメの保護活動や保護の啓蒙・啓発活動を行っています。保護した卵から初めて子ガメが誕生した時は、本当に感動しましたね。紀宝町にとってウミガメはシンボリックなもの。周辺市町と組織化を図りながら、ウミガメを守っていききたいですね。

紀宝町 ウミガメ保護 監視員

くらもと かずのり
蔵本一範
さん



悠久の歴史を今に残す 熊野川

奈良県、和歌山県、三重県を流れる全長183kmの一級河川。山々の中を雄大に流れる川は、世界遺産に登録されています。

子どもの笑顔は、まちの宝ですね

町の親子が集う
子育て支援センター

子育て中の親子が気軽に交流
でき遊べる場で、経験豊かな
保育士のサポートを受けなが
ら日々笑顔と笑い声にあふれ
ています。ゆったりとしたス
ペースで、親子が思い思いの
時間を過ごすことができます。

楽しく遊ぶ
親子の様子を
動画で見よう！



「元気のびのびと育ててほしい」
みんなの願いを受けて、
今日も子どもたちの笑顔と明るい声が
響きわたります。



きぼうサマースクール・ ウィンタースクール

町内小学校の児童を対象に、夏休み・冬休みの期間中に学習会を実施し、子どもたちの自主的な学びをサポートしています。

のびのび 子育て・教育



地域の歴史・伝統を学ぶ教育の導入

地域の人々の指導のもと、田植えや稲刈り体験を通して、地域の産業や歴史・文化を学び、理解を深めています。



紀宝町は子育てしやすい まちなんです

紀宝町は、高校を卒業するまでの医療費助成など、子育てに力を入れてもらっているのも、とても助かっています。特に、子育て支援センターは、親子にとって遊び場であるだけでなく、先生方が親身に相談に乗っていただけるので、私たち子育てしている親にとってはホッとできる場所でもありますね。

子育て
支援センター
利用者

なかに みえ
中谷美江さん
はな
& 羽那ちゃん



愛らしい笑顔、明るい笑い声は町の元気の源——。町の財産でもある子どもたちの健やかな成長は、家族、地域、町にとって共通の願いです。

親子の遊び場や相談場所ともなっている子育て支援センター、子どもたちの健康を担う保健センター、読み聞かせを通じて豊かな感性を養う図書館など、多方面から子どもたちの成長

を支援しています。

また、ALTによる英語教育や地域との交流から歴史を学ぶ取り組み、学ぶ喜びを体感できる講座を取り入れるなど、保幼小中、各年齢・成長段階に応じた保育・教育スタイルを導入しています。

紀宝町独自の保育・教育環境によって、元気あふれる子どもたちがますますと成長しています。

ALTとともに英語を学ぶ

外国の文化を身近に感じ、外国人との交流の大切さなどを教えるALT制度。町では、幼稚園から英語に親しめる環境を整えています。



災害から学んだ教訓を活かしています

過去の災害の教訓や記憶から
未来の町と人々の生命を守る
様々な取り組みが誕生
しています。

町民の 生命・財産を守る 紀宝町消防団

町に密着した消防防災活動を
任務として活動している消防
団は、地域事情に詳しく動員
力に優れています。日常訓練の
ほか、住民に対して、初期消火
などの指導や防止のための啓
発活動も行っています。



地域の課題を見据えた訓練を
実施する自主防災組織



被災者とボランティアをつなぐ
災害ボランティアコーディネーター



町民が主体となり防災について
検討する町民防災会議

進む 防災活動

減災に向けた事前防災行動計画 「タイムライン」

タイムラインとは災害前の行動を「いつ」「誰が」「何をすべきか」を時間を追って整理した計画で、全国の市町村で初めて導入しました。自治体や国、県など行政主体のタイムラインのほか、各地域の自主防災組織など地域に沿ったタイムラインの構築もめざしています。



津波避難ビルとして活用も可能な 防災拠点施設

鉄筋コンクリート造りの6階建て。約800人を収容できる一時避難スペースや備蓄倉庫、自家発電設備を備えた防災拠点施設です。

平成23(2011)年に発生した、紀伊半島大水害による記録的な豪雨は、紀宝町に甚大な被害をもたらしただけでなく、町民の心にも大きな爪痕を残した出来事となりました。

「少しでも減災へ、命を守ることにつながるように」という願いは、災害を経験した誰しもが持つ想いです。紀宝町では、この経験から全国に先駆けた防災への取り組みに力を入れています。

その防災の鍵を握る一つが、平成27(2015)年2月に策定した事前防災行動計画「タイムラ

イン」です。発生が予測できる災害に対して、事前の行動をあらかじめ決めておくもので、災害対応の漏れを減らすとともに先を見越した対応が可能となり、減災が実現できるといった効果が期待されています。

もちろん行政だけでなく、町民自身の活動も減災を実現する上で欠かせない大きな力となっています。町民参加の避難訓練や防災計画策定などを通して、自分たちで考え自分たちで行動する、町民主体の意識・姿勢が生まれ、育っています。

紀伊半島大水害

平成23(2011)年8月30日から9月5日にかけて紀伊半島を襲った台風第12号。過去に例を見ない猛烈な豪雨によって、町内のほぼ全地区にわたって、浸水や土砂崩れが発生し、ライフラインも麻痺(まひ)しました。



提供：新宮市

防災意識を強く持ち 維持していく必要があります

「自然を甘く見てはいけません。まずは早く逃げることを信念に活動しています。現在、津波避難訓練の実施や避難路の点検・整備、避難図の作成などを行っています。今後は、地域の防災意識を継続していくため、定期的に訓練を行い、防災活動の状況を広く発信していきたいと思っています。」

ちゃやし
茶屋地
自主防災会長
はまじ げんひろ
濱地源博
さん



いつまでも健康に、
心身ともに充実した
元気な暮らしをめざしています。

心も身体も元気が一番ですね



**ユニークな動きで
健康づくり
うみがめビクス**

自宅や学校、イベント会場などあらゆる場所で手軽にできるようにと誕生した町オリジナル健康体操。幅広い年代ができる体操で、健康増進の目的だけでなく、世代を越えた交流も生み出しています。

いきいきと
元気に暮らす



町民の健康を担う地域医療

町立相野谷(おのだに)診療所では、県や近隣市町と連携・協力を行い、在宅医療や疾病の予防に努めるなど、町民の健康をサポートしています。



男性も女性も一緒に 健康維持をめざします

現在、健康維持のため、貯筋マイスターの資格をとり、週一回指導を行っています。参加者からは「生きがいにつながった」という声もいただき、うれしく思っています。自分自身、指導者として磨きをかけながら、多くの方と一緒に運動して健康を維持していきたいですね。



貯筋マイスター
おのの みえこ
逢野実恵子
さん

紀宝町では、「健康寿命の延伸」をめざして、各種健診を実施しているほか、病態別の健康づくり教室、こころの健康づくり事業、自身の健康を様々な角度からチェックできる健康づくりイベントなど、「生活習慣病対策」、「メンタルヘルス対策」、「ライフステージに応じた健康づくり」を推進する取り組みを進めています。さらに、専門職による健康相談や指導など、町民の健康づくりをサポートする支援も充実しています。

また、健康文化のまち推進会議

町民部会が生み出した「うみがめビクス」は、町の特徴を取り入れたユニークな動きの健康体操です。

そのほかにも、認知症予防を目的とした「さほうまちかどエクササイズ」や「貯筋運動」、「健康長寿ヨガ」など、あらゆる世代が楽しみながら健康づくりに取り組んでいます。

「いつまでもいきいきと元気でいたい」という思いから生まれた数々の健康への取り組みは、今多くの人の活力を生み出しています。



簡単な動作で筋肉を貯める 貯筋運動

加齢や運動不足による下肢筋力低下を予防するため、簡単な動きで貯筋できる筋力トレーニングを兼ねた運動を行っています。



多様なプログラムがある 紀宝スポーツクラブ

自分の健康を自分が作っていく「健康づくり」を目標とし、多種多様なスポーツプログラムを用意。子どもからおとなまで、生涯にわたって楽しめるスポーツ活動、健康づくり、地域交流づくりに取り組んでいます。

産学官連携による音楽運動 きほうまちかどエクササイズ

認知症予防に効果があると実証された、音楽と運動を組み合わせたエクササイズ。ヤマハ音楽振興会と共同で教室を開いています。



祭りは、まちの彩りを
生み出しています



紀宝町の祭りは、
にぎわいだけでなく
訪れた人々との交流も
生み出しています。



秋の一大イベント
紀宝みなとフェスティバル

鵜殿港で開催している秋の一大イベント。各団体のステージやショーのほか、特産品を集めたブースや屋台コーナーなどを設けており、毎年子どもからおとなまで多くの人が集まりにぎわいます。

にぎやかな
イベント風景を
動画で見てみよう！





にぎやかな 祭り

光に包まれる冬の風物詩 光の祭典in紀宝

地域最大級の規模を誇る冬のイルミネーション。20mツリーや光のトンネルなどが会場を鮮やかに彩り、幻想的な世界を創り出します。

参加者も運営者も 双方が楽しめるイベントに

紀宝みなとフェスティバルをはじめとした町のイベントの企画・準備、屋台の出店などを行っています。参加者に楽しんでもらうことはもちろん、企画・運営に携わる私たちスタッフも、楽しく参加できることがイベント成功において大切なことだと思います。



紀宝町商工会
青年部長
もりみぞ かずや
森溝和也
さん

紀宝町で祭りのある日は、日常とは違う、どこか心弾むような雰囲気になります。その盛り上がりは、多様な催しが開かれる現代のイベントも、昔から連続と続く伝統行事も、どちらも同じ。祭り当日は、町外からも多くの方が訪れてくるほどの人気があります。

現代イベントの中で一番盛り上がりを見せる紀宝みなとフェスティバルは、各種団体によるステージ発表のほか、物産販売コーナーや釣り大会、木工体験、屋台コーナーなど、「見る・遊ぶ・食べる・買

う」を満喫できる一大イベントです。また、冬の風物詩である光の祭典in紀宝では、20mツリーをシンボルに多彩なイルミネーションの光が冬の夜を染め上げます。伝統行事である熊野速玉大社の例大祭・御船祭では、御船島の周囲を競いながら進む早船の姿は迫力満点です。

そのほかにも、季節も時間も異なる多くの祭りがあります。これらはいつの時代も人々を魅了し、紀宝町で多くの交流が生まれるきっかけとなっています。

熊野速玉大社の例大祭 みふねまつり 御船祭

神霊を乗せた神幸船(しんこうせん)を諸手船(もろとぶね)で曳航し、御旅所(おたびしょ)へと導きます。

様々な花火が打ち上がる 紀宝町花火大会

銀滝花火やスターマインなど迫力満点の花火が次々と夜空に打ち上がります。

